# 8　子供の事故予防

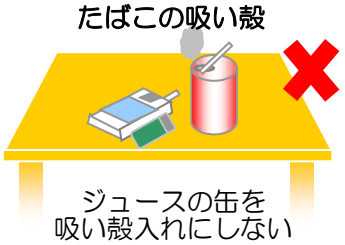
## (1)　おこりやすい事故の予防の工夫

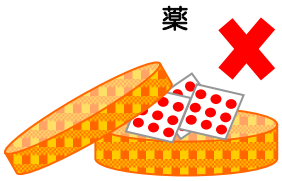
　子供は目に入るものすべてに興味をもちます。特に6か月から1歳代の子どもは日々活動範囲も広がり、驚くような行動をとることがよくあります。これは、発達のためにとても大事な過程ですが、それにより思わぬ事故がおこることがあります。その多くは、普段大人が危険と感じていない物や場所、あるいは周囲の大人の注意力が失われた時に発生します。お子さんのいる家庭はもちろんですが、時々でも小さいお子さんが遊びにくるお家の方は、子供の行動の特徴を知り、もう一度家の中を見渡して下さい。
　また、一歩外に出ると一瞬の油断が大きな事故につながることがあります。家の中でも外でも大人が子供の目線にたって想像力を働かせ、注意して見守ることが事故防止の秘訣です。

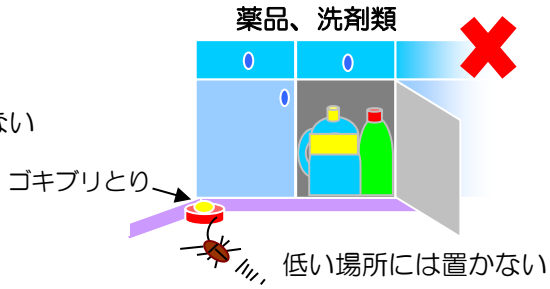
### 誤飲事故を予防するポイント

**家の中を見渡して次のようなことがないよう注意しましょう。**

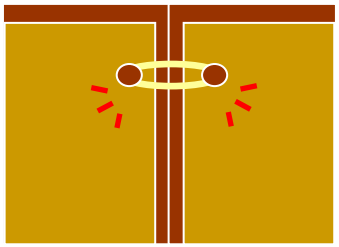
- たばこがテーブルの上に放置されっぱなし
- ジュースの缶を吸い殻入れにしている
- 化粧品やアクセサリーが鏡台の前に出しっぱなし
- お菓子の箱や缶を薬入れに利用している
- 薬品や洗剤類を低い場所に置いている



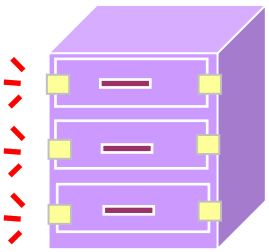


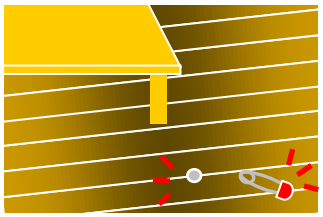

**危険なものには、子供がすぐに手を伸ばせないようにしておきましょう。**



●戸棚
取っ手を髪の毛用の
ゴムで留める



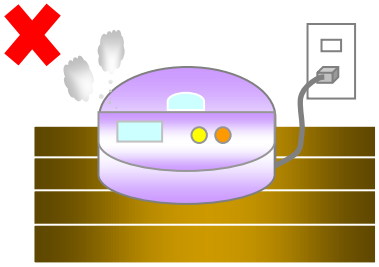
●引き出し
取っ手の部分に棒を通す
強力なマジックテープを
接着剤でつけておく
※市販品で便利なものがあります。



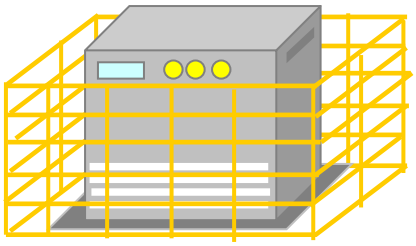
**整理整頓！こまめな掃除！！**
使い終わったらすぐにしまう、テーブルの上にものを置きっぱなしにしないなど整理整頓することが大切。また、ピンやボタン電池などの小さなものもこまめに掃除することですぐ発見できます。

# やけど事故を予防するポイント

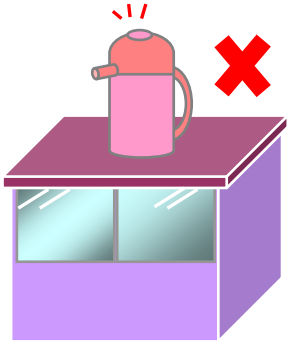
## やけどの危険があるものを再確認しましょう。



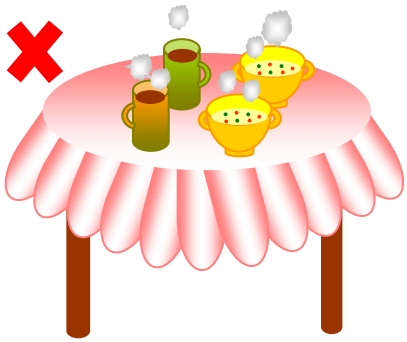
●炊飯器
床など低い位置に置かない



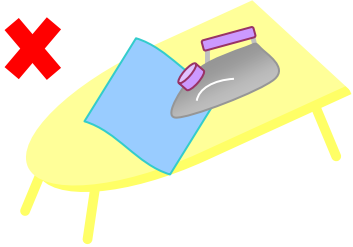
●ストーブ・ファンヒーター
周りを柵で囲む



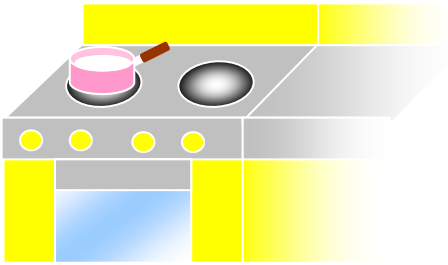
●ポット・電気ケトル
子供が手を伸ばせない場所に置く
ロックをかけておく



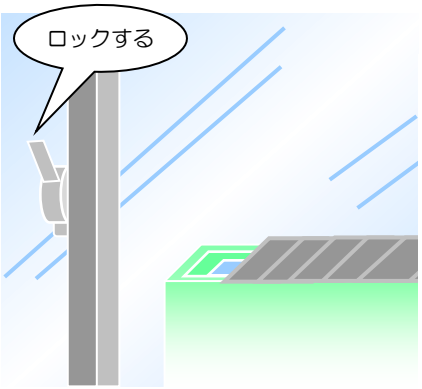
●熱いスープ、みそ汁、お茶など
テーブルクロスは使わない



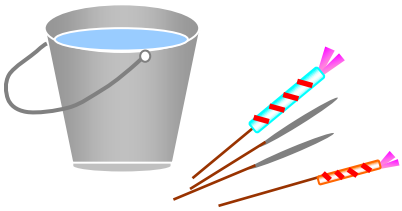
●アイロン
子供がいるところでは使わない
使い終わったらしまう



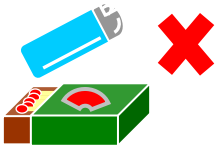
●キッチン
調理中は子供をキッチンに近づけない
なべは取っ手を向こう側に向けておく




●風呂（沸きすぎたお湯、シャワー、熱い蛇口）
浴室にカギをかけ、子供が入らないようにする

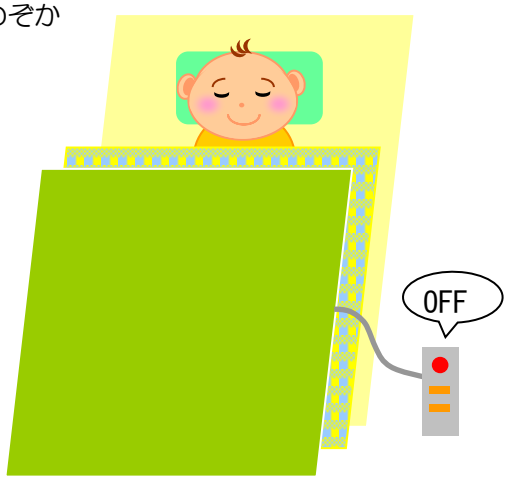


●花火
子供だけでは遊ばせない
必ずバケツ１杯分の水を用意する
途中で火が消えてものぞかせない

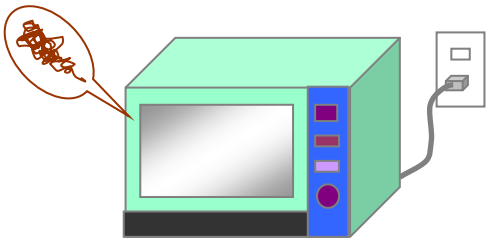


●マッチやライター
子供の手の届くところに置いておかない

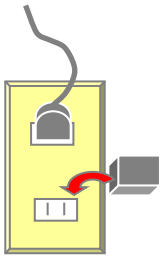
●電気毛布・電気カーペットでの低温やけど
「弱」にしていても長時間当てたままにすると低温やけどをするおそれがあります
タオルなどを使って直接体に触れないようにし、寝る前にはスイッチを切りましょう



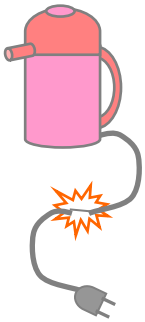
## 感電事故を予防するポイント



●洗濯機や冷蔵庫には必ずアースをつける
●電気製品はなるべく子どもの手の届かないところに置く
●使わないコンセントにはキャップをつける
●プラグはコンセントにしっかり差し込む

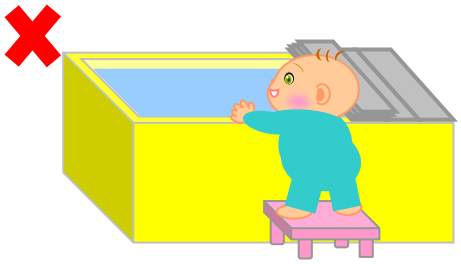


●電源を入れるとこげ臭い電気製品は使わない
●導線がむき出しになったコードやぐらぐらのプラグは取り替える
●日頃から危険なものについては教えておく



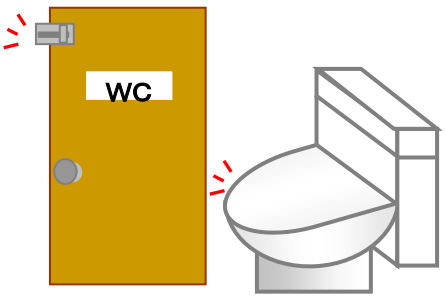
## 水の事故を予防するポイント

**おぼれる危険のある場所をチェックしましょう。**



●風呂場
浴槽には水をためておかない
風呂場のドアにかぎをかける
洗い場に踏み台になるものを放置しない
入浴時は子供から目を離さない
浴槽のふたは丈夫なものにする
風呂場で遊ばせない

●洗濯機
洗濯機の周囲に踏み台になるものを置かない
洗濯機が回っているときはチャイルドロックをしておく
洗濯が終わったら洗濯機の水を抜いておく




●トイレ
使用後は必ず便器にふたをする
トイレのドアは外側にもカギをつける

●その他
海や川、プールで遊ぶときは大人が目を離さない
洗面器やバケツに水を入れたままにしておかない
ビニールプールで遊ぶときは、大人が目を離さない

# 交通事故を予防するポイント

## 歩行中の注意

●道路を歩くときは必ず手をつなぐ
●車道寄りを歩かせない
●いきなり道路へ飛び出さないように子供から目を離さない
●交通ルールを小さいときからよく教える

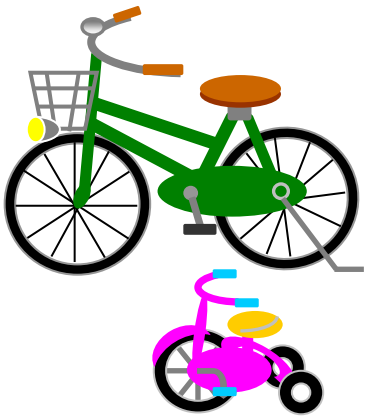
## 外で遊ぶときの注意

●道路で遊ばせない
●ボール投げなどで急に道路に飛び出さないように注意する
●駐車場など車が停車しているそばで遊ばせない

## 自動車での注意

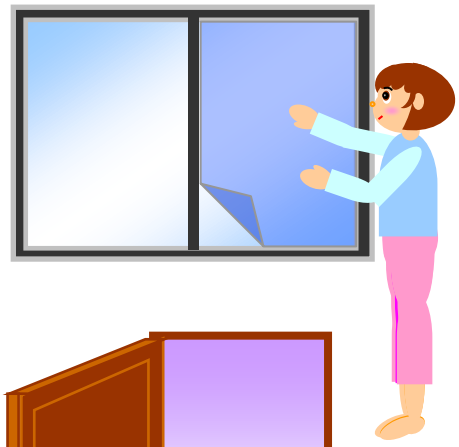
●チャイルドシートを後部座席につける
●チャイルドシートは子供の体格（体重）に合ったものを使用する
●ドアを閉めるときは指をはさまないように注意する
●常にドアをロックしておく
●窓から手や顔を出さないようにする
●自動車の乗り降りの際には歩道側で乗り降りさせる
●車の中に子供を放置しない

## 自転車・三輪車での注意



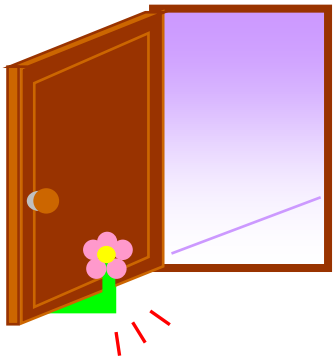
●子供との二人乗りはできるだけ避ける
●体に合ったサイズの自転車・三輪車に乗せる
●交通量の多いところでは、子供一人では自転車に乗せない
●自転車は正しく、上手に乗れるようになるまで道路で乗せないようにする
●三輪車は道路では乗せない
●道路では交通ルールを十分に理解できるようになってから乗せる

# 外傷事故を予防するポイント



## ガラス

●グラスを落としたあとは、掃除機で床を十分に吸い取る
　などの気配りを
●ガラスのおもちゃ等は乳幼児には触らせない
●割れやすいガラス戸には飛散防止フィルムをはっておく

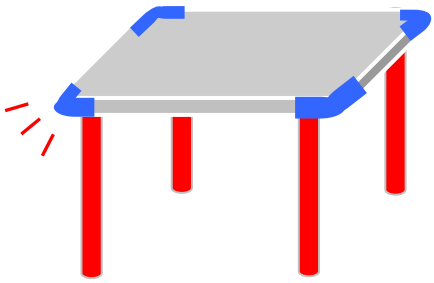


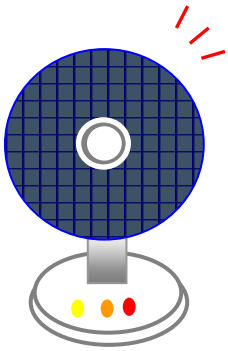
## ドア

●ドアの開閉は静かにおこなう
●子供がそばにいないかを確認して開閉する
●風で「バタン」と閉まらないようにストッパーを利用する
●ドアのすきまカバーなどを利用する

## 家具のコーナー

●ゴムホースを縦半分に切り、接着剤ではる
●ウレタンのクッションを接着剤ではる





## 扇風機

●指が入らないようにカバーをする

## 刃物

●出しっぱなしにしない
●包丁は子供が手を伸ばせない引き出しなどに入れておく
●はさみやカッターは引き出しに入れてカギをかけておく